

支援プログラム					
事業所名	カラーズFC広川町	作成日	令和7 年	2 月	12 日
法人（事業所）理念	目標（Purpose）： 笑顔の循環の起点となる 志（Ambitious）： 地域で感謝される企業となり、日本の教育と子育てを前に進める 価値観（Value）： 成長を楽しむ、変化を楽しむ、挑戦を楽しむ、多様性を楽しむ、今を楽しむ				
支援方針	「生きる力を育む」 サッカー療育を通して子どもたちが楽しみながら主体的に社会性・非認知能力を育み、ウェルビーイングと自立支援を目標とする伴走型の療育プログラムを提供します。				
営業時間	平日 10：00～19：00 休日 9：00～18：00		送迎の有無	有り	
支援内容					
本人支援	健康・生活	食事・排泄・衣類の着脱・手洗いうがいに関するプログラムを実施，環境（事業所での活動、外活動、体育館での活動を明確化）・スケジュール（事業所内にスケジュールを掲示）・活動（事業所入室時、手洗いうがいの手順を掲示）の構造化			
	運動・感覚	サッカーを用いたプログラムを実施（姿勢の保持、筋力の維持・向上、ボールを用いた視覚・触覚・固有覚・前庭覚を刺激するトレーニング、笛の音を合図とした聴覚を刺激するトレーニング、平均台などを用いた前庭覚を刺激するトレーニング）			
	認知・行動	サッカーを用いたプログラムを実施（視覚情報、聴覚情報から状況を把握し、次の行動を判断するトレーニング、身体部位・色・位置といった概念形成を図るトレーニング、知覚・記憶・思考・言語・注意を意識したプログラムとする）			
	言語・コミュニケーション	サッカーを通して非言語（表情・ボディランゲージ、みぶり、サイン）・言語（作戦タイムにおける話し合い等）・指示理解に関するプログラムを実施。			
	人間関係・社会性	サッカーを通して、模倣行動の支援、集団スキル（練習時の役割分担、試合でのポジション決め、子どもが主体となったトレーニングの実施）・社会的スキル（サッカーのルールに即した試合、決まりのある遊び・トレーニングの実施）、自己理解と行動の調整に関するプログラムを実施。			

家族支援	児童の発達・特性に関する状況の把握、および相談や助言、子育て支援に関する情報の発信など 支援プログラム、支援計画に関する説明・相談など 保護者からの相談内容に関する助言や、発達支援の手法に関する助言（利用児童だけでなくきょうだい支援も含む） 親子レクリエーション等を通して支援方法の確認や、保護者同士の交流の機会の提供	
移行支援	・インクルージョンに向けた取り組み 事業所で習得した行動を家庭や学校で実践できるように支援を行う。学校の部活動やクラブチーム等への移行。 アビスパ福岡や久留米大学と共同した地域でのD&I（ダイバーシティーインクルージョン）サッカーフェスタの開催。 ・地域の公園を活用した集団行動	
地域支援 地域連携	・相談支援事業所や併用先の事業所、学校との情報共有と支援内容の共通化	
職員の質の向上	・アクティビティ研修（1回/1～2か月） ・療育関係勉強会（1回/2～3か月） ・理念研修（1回/月） ・虐待防止及び身体拘束適正化に関する研修（1～2回/年） ・感染症予防研修（2回/年）	・360°C評価 および1 on 1（1回/年） ・災害BCP訓練研修（1回/年） ・感染症BCP訓練研修（2回/年） ・ストレスチェック（1回/年） ・相談窓口及びホットラインの設置
主な行事等	・親子サッカー ・合同サッカー（事業所間の交流） ・初詣(1月) ・夏祭り(8月) ・クリスマス会(12月) ・系列事業所との合同運動会	